

レーダーチャート図の作成

No.excel:35

PC クラブ 2024.11.20

伊藤 嘉明

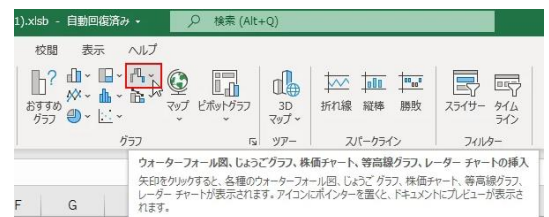
レーダーチャート図を作成する

それではレーダーチャートを作成してみます。最初にグラフの対象になるデータを選択してください。データの系列は一つでも複数でも可能です。

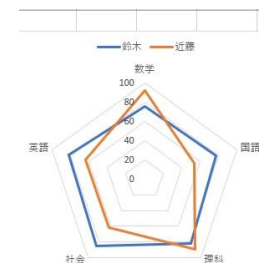
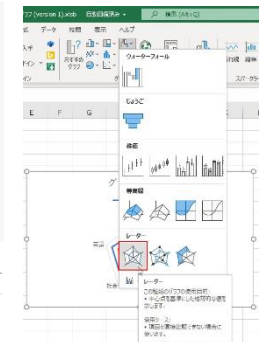


「挿入」タブをクリック

リボンが表示されたら「グラフ」グループの中の「ウォーターフォール図、じょうごグラフ、株価チャート、等高線グラフ、レーダーチャートの挿入」アイコンをクリックしてください。



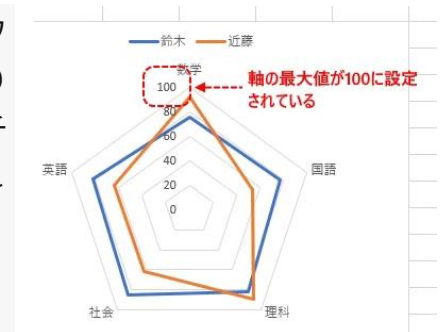
グラフの種類が一覧で表示されます。レーダーに関するグラフも 3 つ用意されており、今回はこの中の「レーダー」グラフを作成します。次の位置にある「レーダー」アイコンをクリックしてください。



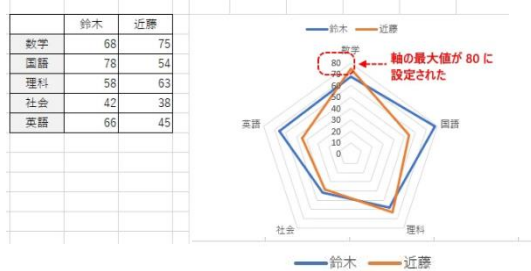
レーダーチャートが作成されました。

レーダーチャートの最大値を設定する

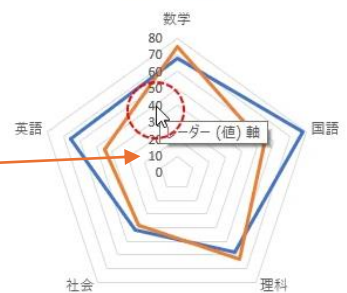
レーダーチャートを作成したら軸の最大値を設定しておきます。デフォルトでは自動になっているため、適切な値が設定されるときもありますしそうでないときもあります。例えば先ほど作成したレーダーチャートは試験の結果に関するもので、軸の最大値は 100 に設定されていました。



別のデータを使って同じようなレーダーチャートを作成した場合、点数が低めだったこともあり最大値は 80 に設定されました。



成績のレーダーチャートで最大値が 100 ではなく 80 に設定されていると、実際よりも高い点数を取得したように見えてしまいます。そこで適切な最大値を手動で設定しておきます。



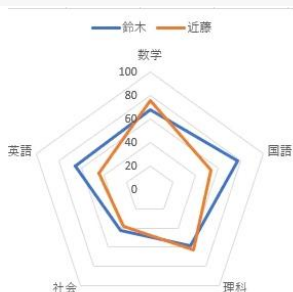
軸の上にマウスを合わせてください。

軸の上で右クリックし、表示されたメニューの中から「軸の書式設定」をクリックしてください。



画面右側に「軸の書式設定」を設定する画面が表示されます。「軸のオプション」アイコンをクリックしてください。

「軸のオプション」の中の「境界値」で軸の最小値と最大値を設定します。今回は「最大値」の右のボックスに 100 を設定しました。

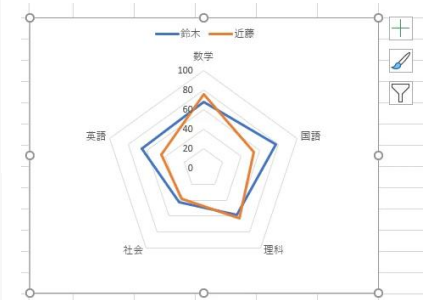


軸の最大値が 100 に設定されました。

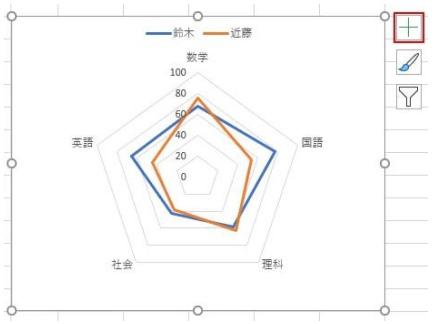
自動で設定された値でも問題ない場合も多いですが、必要な場合は最大値を手動で設定してください。

レーダーチャートに表示するグラフ要素を選択する

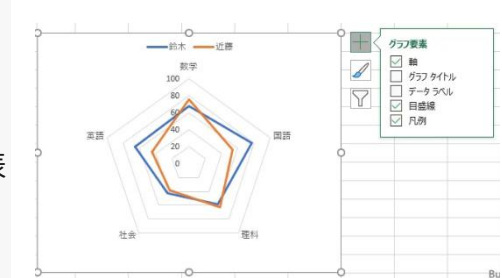
レーダーチャートには軸やタイトル、凡例、データラベル、などのグラフ要素を表示することができます。それぞれのグラフ要素を表示するかどうかを切り替えるには、グラフエリアの何も無いところをクリックしてください。



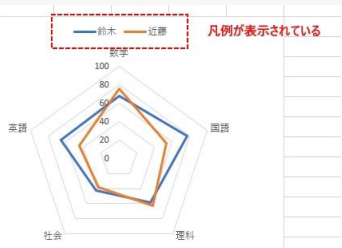
するとレーダーチャートの右上に 3 つのアイコンが表示されます。この中の「+」と表示されたアイコンをクリックしてください。



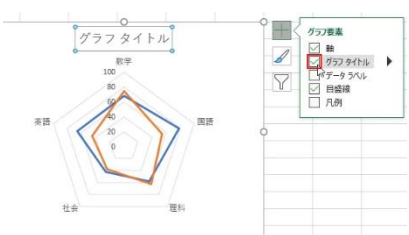
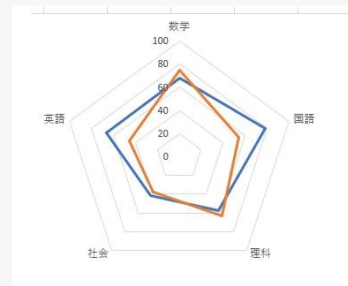
レーダーチャートに表示するグラフ要素を選択する画面が表示されます。



グラフ要素を選択する画面で「凡例」のチェックを外してみます。

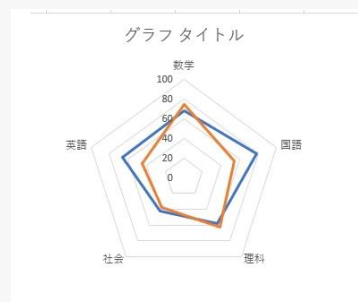


レーダーチャートに凡例が表示されなくなりました。



今度はグラフ要素を選択する画面で「グラフタイトル」にチェックをしてみます。

レーダーチャートにタイトルが表示されました。

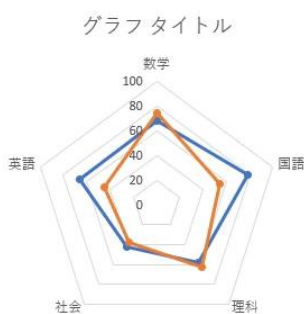


その他のレーダーチャート

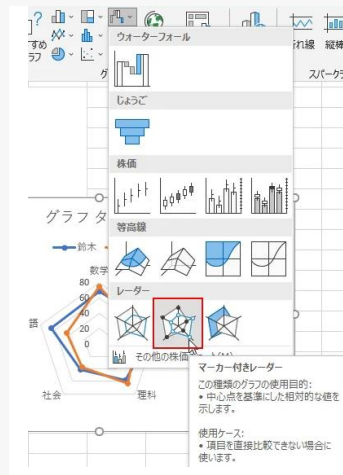
先ほどは「レーダー」の中の「レーダー」グラフを使用したレーダーチャートを作成しました。レーダーチャートは他に 2 つの種類が用意されているので簡単にご紹介しておきます。

マーカー付きレーダー

「マーカー付きレーダー」は各項目の値を表示するところにマーカーを表示します。作成するときは次のグラフをクリックしてください。



マーカー付きレーダーチャートを作成すると次のように表示されます。



塗りつぶしレーダー

「塗りつぶしレーダー」は各項目の値を直線で結んで作成した多角形を塗りつぶして表示します。作成するときは次のグラフをクリックしてください。



塗りつぶしレーダーチャートを作成すると次のように表示されます

